

8月の神戸川の見所

8月はハゼの繁殖期の真っ只中。オスがメスに寄り添って泳いだり、グルグル回ったり、ヒレを全開にして猛アピールする求愛ダンスを見ることもできます。シンクロする様子はとても可愛らしく、またその必死さに応援したくもなります。



求愛ダンスをするボウズハゼ(色鮮やかな方がオス)

鎌倉淡水魚紀行
夏休み特別編

神戸川 撮影・観察5つの極意

このコーナーは、市内山ノ内で釣りに関するアドバイスなどを行う(株)フィッシュナビの代表で、「魚の専門家」の八鳥洋二さんからご寄稿いただいています。

鎌倉西部を流れる小さな2級河川「神戸川」には、近隣住民でも見過ごしがちな秘められた魅力が満載。今回は夏休み特別企画として、(株)フィッシュナビが撮影や観察の「5つの極意」を読者の皆さまに伝授します。夏休みの自由研究や絵日記、スケッチ、写真、ミニ図鑑……、テーマや楽しみ方は皆さんそれぞれでいいと思います。普段見る何気ない川でも、知れば「特別な場所」に変わるかもしれません。

極意① おすすめの場所

神戸川で魚の撮影において、私の十八番的な場所があります。お買物や散歩ついでに、川です。それはズバリ、セブンイレをチラッと覗く習慣をつけまブン鎌倉津西店と腰越なごやかセンターの間。アユやハゼ類、ますし、回数を重ねると、見つけ時にはウナギが姿を現すことけるのも得意になり、行動も理も。私が撮影した魚の9割はここで、観察にも適したオススメの場所です。

極意② 観察日和

「晴天と「無風」が観察日和。時間帯は、太陽が高い位置にある時間(11時~13時頃)がベストですが、基本的には魚が目視できる明るい時間帯であれば、いつでも観察は可能です。

反対に観察に適さないのは、川の水が濁って魚が見えない「雨天」です。また晴天でも、風が吹いている時は、水面が波立つので、観察には不向きです。

極意③ 出合う確率

この手のお魚観察は、足を運ぶ習慣と1回1回の積み重ねが大切です。「気楽に魚が観察できる神戸川」ですが、出合えるか否か、その主導権は常に自然や魚にあり!「時の運」と割切る心構えも必要です。

極意④ 観察のコツ

野生の魚や生き物は、とても警戒心が強く、人影に気づくと、アユは人から距離をとり、ハゼやカニはすぐさま岩の隙間に身を隠します。しかし、2~3分その場でジッと、魚が危険でないと判断すれば、リラックスした姿が見られるでしょう。極意②でも触れましたが、正午前後は太陽が真上に位置し、人影がきづらくオススメです。

極意⑤ お魚ホットライン

分からない事があれば、よく知っている人に聞くのも1つの手です。そこで、フィッシュナビでは、8月限定で神戸川のお魚相談ができるホットラインを設けます。些細なことでもしっかりお答えしますので、お気軽にご質問ください。

神戸川お魚ホットライン

株式会社フィッシュナビ 代表:八鳥(はっとり)
☎050-7110-2299 (12時~18時)
✉fish@fishnavi.com (24時間受付)
期間は8月31日まで

神戸川観察における注意事項・お約束

- 熱中症対策は万全に
- 川には入らない、雨天増水時には川に近寄らない
- 魚や生物はそっと見守りましょう(捕獲や持出し、また持込もやめましょう)